

第26回研修会「秋の研修会 in 京都」報告

■日本フットケア技術協会（JAFTA）第26回研修会「秋の研修会 in 京都」■

2017年11月12日（日）13：00～16：00に会場は京都御所西の護王神社内護王会館大会議室にて行われました。

護王神社は足腰の守護神として広く崇敬されており、JAFTAの目的である『足から人々の健康生活に貢献すること』を目指す施術者にとって相応しい会場を中道寛研修委員長が自ら手配され研修委員会で下記の要領で実施いたしました。

【講演】

- ・『高齢者のフットケアを行う際の注意点—内科医の立場から』：新城孝道先生（JAFTA 会長）
高齢者の身体的特徴・高齢者のフットケアの注意点・足病変の因子について・履物、靴下について等
施術者が施術にあたり留意しなければならない具体的な禁忌事項、リスク解除するための観察の仕方等
- ・『高齢者のフットケアを行う際の注意点—皮膚科医の立場から』：中道寛先生（JAFTA 副委員長）
高齢者の皮膚の構造・薬の服用している場合、疾患がある場合のリスク・感染症について・スキンケア用品アドバイス等
- ・『高齢者の爪きりのいろいろ』・『高齢者施設への往診フットケア運営ならびに高齢者の爪切りのいろいろ：実演』：古屋智美先生（NPO 法人介護予防フットケアサポートねっと副理事長、フット&ボディサロン リフージュ 代表）
高齢者施設往診の現状・施設との関わり方について・施術前後の留意点・契約方法・具体的施術の流れ及び注意点・介護フットケアの必要性を上げるための取り組み等

【スポンサーセミナー】

- ・『シリコンオーテーゼについて：体験』：遠藤拓氏（JAFTA 事務局長）
足部、趾間緩衝用にシリコン材料であるエルコトン（ERKODENT）・圧軽減オートーゼ（RUCK）足模型を使用した体験学習

【質疑応答】事前にご参加の会員様より質問をいただき、講演時に回答いただきました。その他の質問があり演者の先生がたから回答いただきました。

【懇親会】終了後、別会場にて会食会、名刺交換や情報交換を行われました。

以上、研修会参加者は合計26人（内訳： 会員14人 ・ 非会員12人）でした。

運営の一人である大岩副委員長の感想として「高齢者のフットケアのテーマに基づいた現場で役に立つ具体的な知識と多種の症例写真のご提示により、見て・確認でき現場ですぐに役立つ講演であったと思います。実演では、爪切りの施術前後 手順・備品の活用術等、様々なノウハウをご披露いただき、参加者の研修会満足度は高く、来年度の京都での開催依頼の声もありました。今回はJAFTAのフェイスブックを開設し、研修会案内のPRも行い参加者を多く獲得することができたのではないかと自負しています。今後もフェイスブックを活用し、参加できない方にはライブ中継を実施してより研鑽につとめていきたいと考えています。」と述べています。